まち・ひと・しごと創生法　地方創生

令和7年度

地方創生応援税制
（企業版ふるさと納税）

取組事業

鈴　鹿　市

令和7年度における寄附活用対象事業

令和7年度実施事業

(1)	事　業	『さぁ、きっともっと鈴鹿。』で子育て「すずっこまんなかプロジェクト！」		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	子どもが輝き 人と文化を育むまち事業		
	事業費（円）	4,843,072	担当課	こども保健課 こども家庭支援課
	寄附を活用した事業の内容	①子育て支援事業 ： 子育て関連施設へ授乳室を導入しました。 ②児童虐待・DV対策等総合支援事業：こどものかかわり方やしつけに悩む養育者の方々の一助とするため子育て応援講座の実施するとともに、家庭訪問・保育施設訪問・啓発活動等に使用する公用車整備しました。 ③特別支援教育推進事業：こどもの特性に応じたサポートを行う「すずっこスクエア」のより良い教育環境のため、施設設備改修を行いました。		
	寄附の効果	本事業の実施により、妊娠・出産・子育ての各段階における、支援体制の強化につながり、未来を担うこどもたちの健やかな成長を支えるための途切れのない支援を推進することができました。		
	関連する指標の名称（事業に紐づく地域再生計画のKPI）	地域子育て支援拠点施設利用者数（年間）		
		保育所等を利用している子どもの割合		
		相談支援対応件数（年間）		
(2)	事　業	「新たな小学校づくり」推進事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	子どもが輝き 人と文化を育むまち事業		
	事業費（円）	42,218,660	担当課	教育政策課
	寄附を活用した事業の内容	本市では初めて、市内の3小学校を再編し、令和8年4月に「鈴鹿市立天栄小学校」が開校しました。同小学校の開校準備関連事業の一部として、スクールバスの試乗会の実施、小学校施設整備（スクールバス乗降場所の整備）を実施しました。		
	寄附の効果	開校に伴い、スクールバス運行が始まるため、本事業の実施により、子どもたちが安心して快適に学ぶことができる環境づくりを進めることができました。		
	関連する指標の名称（事業に紐づく地域再生計画のKPI）	学校施設の整備に満足している保護者・地域住民の割合		
(3)	事　業	避難所環境等改善プロジェクト		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	生命と財産を守り抜ける 安全・安心のまち事業		
	事業費（円）	8,998,813	担当課	防災危機管理課
	寄附を活用した事業の内容	市内41か所の基幹収容避難所に、震度5以上の揺れを感知して自動解錠するキーボックスを設置し、その中に避難所の鍵を収納する取組を進めています。令和7年度は、その費用の一部に寄附を活用し、新たに14か所の避難所に設置しました。また、地震等の災害時に、避難者や帰宅困難者用に備蓄する食糧、衛生用品、トイレットペーパーといった物資購入しました。		
	寄附の効果	本事業の実施により、大地震の際、夜間や休日など避難所となる施設が施錠されている時間帯においても、市民が自主的に開錠、避難所を早期開設することができる施設が増え、また、備蓄物資の充実に資することができ、避難者の安全・安心に繋がっています。		
	関連する指標の名称（事業に紐づく地域再生計画のKPI）	市公式LINE 災害情報登録（利用）者数（累計）		

(4)	事　業	河川防災センター維持管理事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	生命と財産を守り抜ける 安全・安心のまち事業		
	事業費（円）	10,572,100	担当課	防災危機管理課
	寄附を活用した事業の内容	河川防災センターは、大規模災害発生時に現地活動拠点になるだけでなく、平常時から多くの市民に地域活動の場として利用されています。同センターの2階大会議室等の空調設備の老朽化に伴う大規模修繕を実施しました。		
	寄附の効果	大規模災害時の活動拠点としての環境面の向上が図られただけでなく、平常時の施設利用者にも快適に施設を利用していただけるようになりました。		
	関連する指標の名称（事業に紐づく地域再生計画のKPI）	市公式LINE 災害情報登録（利用）者数（累計）		
(5)	事　業	緊急避難場所整備事業費補助事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	生命と財産を守り抜ける 安全・安心のまち事業		
	事業費（円）	1,974,000	担当課	防災危機管理課
	寄附を活用した事業の内容	津波避難施設整備事業補助金（対象事業費の1/2　限度額5,000千円）を設置し、民間施設の津波避難ビルを整備する者に対し、経費の一部を補助を実施しました。		
	寄附の効果	本事業の実施により、津波から一時的に緊急避難するための津波避難ビルの整備をする民間事業者を支援することにより、津波発生時には避難者が安心して避難できる安全・安心のまちづくりの推進に寄与しました。		
	関連する指標の名称（事業に紐づく地域再生計画のKPI）	市公式LINE 災害情報登録（利用）者数（累計）		
(6)	事　業	鈴鹿deはたらこっ！プロジェクト		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	持続可能な産業の発展とにぎわいや　交流が生まれるまち事業		
	事業費（円）	16,837,929	担当課	産業政策課
	寄附を活用した事業の内容	地元企業、市内高等学校と高等教育機関、ハローワーク、鈴鹿商工会議所と市が連携し、「チーム鈴鹿」として、年間を通じた企画・立案・実施（協議会の実施、対象者別就職説明会、企業見学会、都市圏での就職フェア開催、企業向け講座などを実施しました。		
	寄附の効果	対象者別就職説明会、企業見学会、都市圏での就職フェア、企業向け講座など、年間を通じて各ターゲット層に向けた事業の実施により雇用に結びついたこと、さらには協議会における実施事業を踏まえた課題の洗い出しにより、次年度に向けた施策の方向性が定まるなど、本市雇用施策の一層の推進につながりました。		
	関連する指標の名称（事業に紐づく地域再生計画のKPI）	本市の雇用施策による市内企業への就職者数（累計）		
		働き方改革に率先して取り組む企業数（累計）		

(7)	事　業	都市公園整備事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち事業		
	事業費（円）	8,955,100	担当課	市街地整備課
	寄附を活用した事業の内容	市内公園（地子町公園）に複合遊具を整備しました。		
	寄附の効果	市内の都市公園に設置されている遊具の老朽化への対応、厳格化する安全基準への適合が求められる中で、本事業の実施により、子どもたちの安全性の確保とともに魅力的な公園づくりを推進することができました。		
	関連する指標の名称（事業に紐づく地域再生計画のKPI）	公園施設利用率		
(8)	事　業	シティプロモーション事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	みんなで支える　自分らしく生きるまち事業		
	事業費（円）	8,800,000	担当課	総合政策課
	寄附を活用した事業の内容	企業版ふるさと納税を活用して実施した取組を中心とした鈴鹿の未来へ繋がるまちづくりや、市の魅力を伝えるミニ番組を制作し、東海圏において放送（2026年3月・全5回）を実施しました。		
	寄附の効果	本事業の実施により、本市が取り組む「＃最高に住みやすいまち鈴鹿」を目指した、少子高齢化・人口減少時代に負けない持続可能なまちづくりについて、東海圏を中心とする多くの方にリーチすることができ、シティプロモーションの推進に繋がった。		
	関連する指標の名称（事業に紐づく地域再生計画のKPI）	社会動態による人口動態		

令和8年度以降実施予定事業

令和7年度に寄附を受けた以下の事業は、寄附金を「鈴鹿市企業版ふるさと納税基金」に積み立てを行い、令和8年度以降の事業として寄附活用を予定しています。

(1)	事　業	すずっこまんなかプロジェクト(基金積立て分)
	寄 附 額 （円）	13,000,000
(2)	事　業	スクールバス運行事業
	寄 附 額 （円）	1,600,000
(3)	事　業	避難所環境等改善プロジェクト(基金積立て分)
	寄 附 額 （円）	600,000
(4)	事　業	鈴鹿deはたらこっ！プロジェクト（基金積立て分）
	寄 附 額 （円）	5,300,000
(5)	事　業	東西医学を融合した新しい薬膳発信プロジェクト
	寄 附 額 （円）	600,000
(6)	事　業	SUZUKA@TOKYOプロジェクト
	寄 附 額 （円）	100,000